

こども若者★いけんぷらす いけんひろば

～教育DXの未来を考える～

フィードバック資料

令和6年8月8日（オンライン開催）

令和6年8月10日～8月12日（チャット開催）

2024年度こども若者★いけんぷらす

1. いただきたいけんの活用について p.3
2. 端末を使うことで「誰かとつながる」ことの楽しさ p.4
3. 端末を使うことで「学びがひろがる」ことの楽しさ p.5
4. 誰もが十分に端末を利用できる「環境をととのえる」必要性 p.6
5. 情報のセキュリティ、「安全・安心を確保する」取り組みの必要性 p.7
6. 学び方を「それぞれの得意にあわせる」未来の実現に向けて p.8
7. データの持ち運びによる「多様な学びの場」の実現について p.9,10



いただいた意見の活用について

『教育DXロードマップ』の策定にあたり、今回のいけんぷらすでいただいたみなさんの意見をふまえて、各項目の表現などに反映しました。

教育DXロードマップ <https://www.digital.go.jp/news/511df327-5ba3-456e-a5cd-2ebeddd8c960>

教育DX：教育において、デジタルを活用した新たな価値の創造が行われること。

教育DXロードマップ：「誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会」という教育DXのミッションの実現を目指し、関係省庁が連携して施策を推進するための青写真と工程表を整理したもの。

『教育DXロードマップ』では「誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会」をめざして、「学ぶ人のために、あらゆるリソースを」というビジョンのもと、5つの観点から取組を整理しています。
皆さんからいただいた意見は特に次の3つの観点に反映されています。

- 多様な学びのための学習環境の整備
- データによる学習者の自己理解・教師の見取りの充実
- 生涯を通じて学びのデータを活かせる環境の整備

具体的にどんなところに反映したかは、次のページからご紹介します。



1. 端末を使うことで「誰かとつながる」ことの楽しさ

遠くにいる人とも学べる

- **海外の方や初めての方と知り合う機会が増える**。授業でオンライン会議ツールを利用し海外の方と繋がりやすくなったと聞いたことがあります。（社会人年代）

他の人との学びが楽しくなる

- あるアプリケーションを使っていたが、すごく楽しくて、そのアプリによって大嫌いな算数を好きになった。**ノートの共有機能を使って、みんなでお絵描きして遊んだり、学級係のメンバーでコトを一緒に書いたりした。共同作業をできることが楽しかった。**（小学生～中学生）
- 調べ学習の発表で発表用ツールを使う時に**みんな効果音をつけたがるので教室の色々なところから色々な音して笑いが起きた事**。（社会人年代）
- ツールを使って**プレゼン資料を個人又は共同で作成するのは楽しい**です。（中学生～高校生年代）
- 私の学校も学習アプリを使うことがあるのですが、**他のクラスメートと競い合う形**なのでめっちゃ盛り上がれます！（高校生年代～大学生・大学院生）

・端末を利用した学びの面白さやメリットについて、個別に取り組む学びの大切さだけではなく、端末を使って様々な人とつながることで得られる学びの面白さについても触れられていました。
こうした皆さんの意見も踏まえながら、『教育DXの目指す姿』に、個別に最適な学びを目指すことと加えて、誰とでもつながることが出来る、というポイントを明記しています。

（右図 P7.教育DXによって実現する将来イメージ（学習者の立場から））



2. 端末を使うことで「学びがひろがる」ことの楽しさ

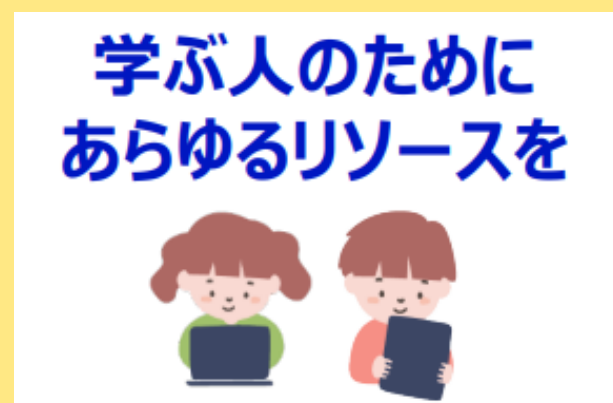
学びを通じた新しい発見や挑戦

- 楽しかったことは**知らないことを瞬時に知ることができて**、便利になったことはもちろん、**物事の視野が広がってワクワク**していました。（社会人年代）
- レポートを書いたり、研究を進めたりするのはもちろん、**授業で出てきた内容の応用的なことを試してるときも楽しかった**です！（社会人年代）

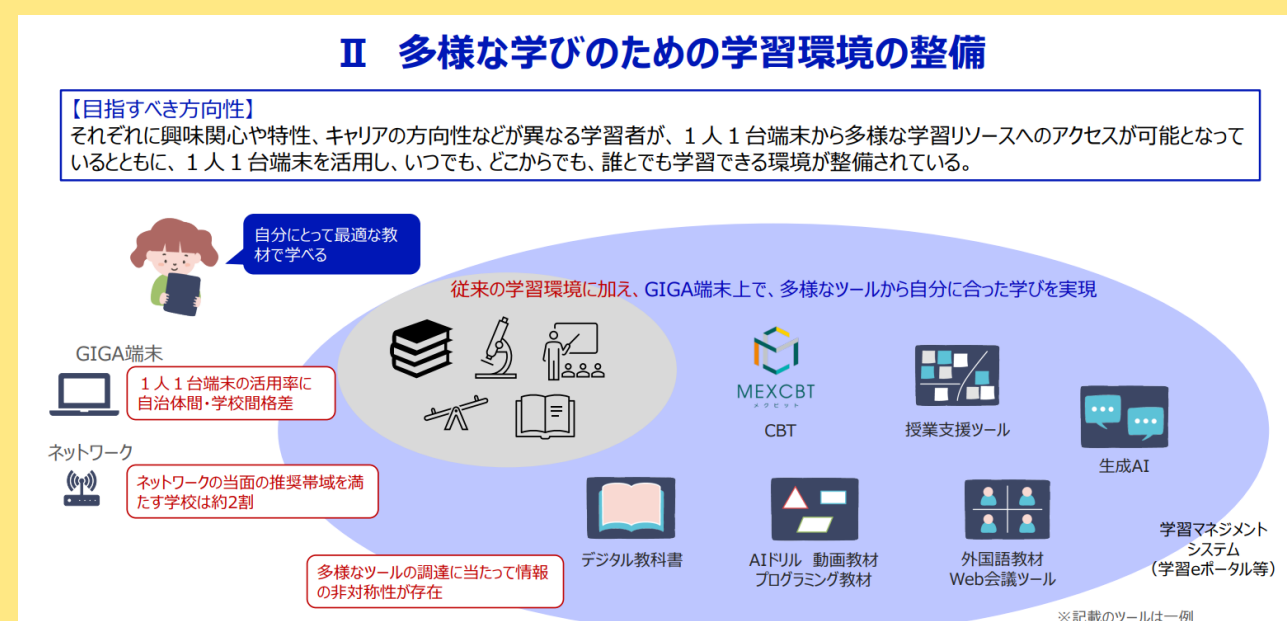
デジタルツールならではの楽しさ

- 計算機としての**手作業では無理な解析をやっているときが楽しかった**です（社会人年代）
- メリットはノートと鉛筆を使っのアナログな学習に替わり、**様々なアプリを使用して学習ができること**です。（中学生～高校生年代）

・様々なアプリを用いることで、学びをより広い範囲に広げられることの楽しさが触れられていました。
ロードマップでは、こうした学びがひろがることの楽しさを重視し、皆さんが自由に教材を選んで学べる未来を実現することを目標のひとつとして設定し、それを実現するために必要な取り組み（たとえば、授業で様々なツールを利用するために必要なデータ連携の方法や、さまざまな教育ツールの情報を収集する方法など）について記載しました。



P11.関係施策の相互関係と主な論点図の中核



P18.多様な学びのための学習環境の整備

3.誰もが十分に端末を利用できる「環境をととのえる」必要性

学校のネットワーク回線に関する課題

- 学校で使っている学習管理サイトが**すごく重くて困っている**。（中学生～高校生年代）
- タブレットやパソコンの性能や、**インターネット回線上の問題**（多数の端末が同時に接続するので業務用の回線を導入していても厳しいみたいで
す）**で問題が発生することが多い**。（中学生～高校生年代）
- **Wi-Fiは校舎の端のほうだと電波が悪く**、授業の時も教室を変えたりしている。（高校生年代～社会人年代）

端末の性能や回線に関する金銭的な課題

- **パソコンのカメラの画質が悪いのがいやだ**と思う。夏に関する写真を撮るという夏休みの宿題があったが、画質が悪いので出したくないと思った。
（小学生～中学生）

・学校のネットワーク環境の課題や、端末に関する性能面での課題が挙げられていました。
ロードマップでは、こうした環境面の課題を解決するために、具体的な目標として記載しています。

	As Is	2028～2029（R10～11） 校務DX・デジタルを前提にした多様な学びの進展	To be DXによる自分らしい学びの実現
多様な学びのための 学習環境の整備	✓ 1人1台端末は整備済だが、校内外のネットワークが不十分 ✓ 端末の利活用状況の格差	✓ GIGA第2期端末が県域で調達され、日々効果的に活用 ✓ 必要なネットワーク環境が整備済 ✓ 自治体が多様なツールを調達できるよう支援し、発達の段階に応じて、生成AI等も含む自分にあったツールで学ぶことができる環境整備	✓ 端末やネットワークといった学習環境が整備 ✓ 多様なツールを組み合わせた自分らしい学びが全国に普及 →多様なツールで学べる環境を実現

P12.関係施策の目標

4.情報のセキュリティ、「安全・安心を確保する」取り組みの必要性

情報が漏れていることやハッキングへの不安

- **自分の見ている情報がハッキング**されていたらどうしようとは思ったことはあります。（社会人年代）
- 常に**情報が漏れていないか**、気にしていました。実際にはないと思うのですが常にリスクと隣り合わせと考えると、安全というお守りがほしいです。（社会人年代）

・情報のセキュリティについては、個人情報等に配慮し安全・安心を確保することが大前提です。このため、個人情報保護等のルール徹底や、教育情報セキュリティポリシーの策定など、皆さんの安全・安心を確保できる取り組みについて記載しています。

個人情報保護等のルールの徹底

- ✓ 「教育データの利活用に係る留意事項」を策定・改訂し、周知を実施
- ✓ 個人情報保護等の実態について教育委員会宛てに調査を実施するとともに、個人情報保護法等に基づき適切な取扱いがされるよう改めて、説明会等も実施しながら周知徹底



- ✓ 「教育データの利活用に係る留意事項」については、引き続き必要な改訂や周知徹底を行いつつ、教育委員会宛てに自己点検・実態把握調査を行うなど、早急に全教育委員会で個人情報の適正な取扱いを徹底
- ✓ 教育情報セキュリティポリシーの策定について → I - 1

P25. Ⅲ - 3 教育データの分析・活用の推進

5. 学び方を「それぞれの得意にあわせる」未来の実現に向けて

自分に合った学びへの希望

- 得意なことが早く進む人と、ゆっくり進む人がいるので、マイペースに進められたら良いと思う。フリースクールではマイペースに進められると聞いたことがある。
(小学生～中学生)
- 自分で選べる教育であって欲しいと思います。そして自分で選ぶために必要な力や、選び方を教えてくれ、自分で決めたことに全力でサポートしてもらえる、そんな体制を整えて欲しいです。(中学生～高校生年代)
- 生徒が自ら探求できる教育の場になってほしい。「問題を設定する」→「情報を収集」→「分析」→「意見を交換、協働」というようなサイクルが多くの教科で実践できる教育体制が整うと良いと思う。(中学生～高校生年代)

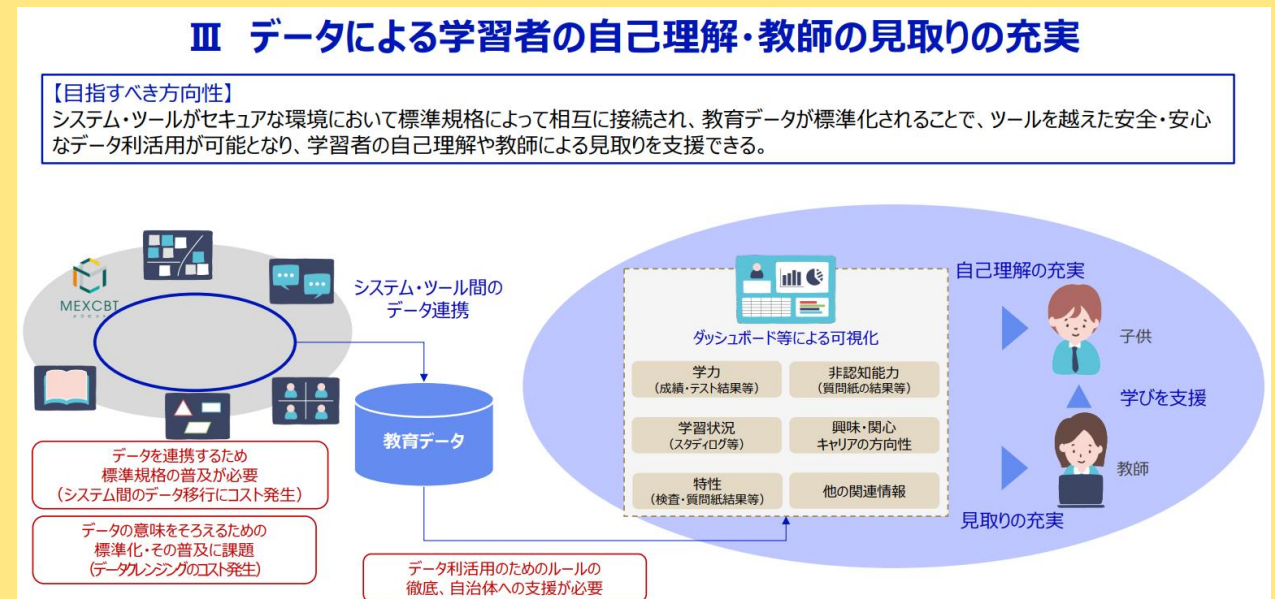
端末を使った学びに必要なサポート

- それぞれの子どもたちが自分の好きなこと、得意なことに全力を注げる環境が整っていればと考えます。徹底的に寄り添いながらサポートしてくれる先生や、お互いを高め合える仲間やライバルたち、そしてなんと言っても成長型の勉強用具が必須だと考えます。(中学生～高校生年代)
- 自分で知りたいことを調べる際の内容別の最適なツールの提案がほしいです！この本が良い、など詳しいのが理想です。(高校生年代～大学生・大学院生)

・デジタルの活用で可能になる学びの方向性として、それぞれの個性や得意・不得意にあわせた学び方が可能になることへの希望を多くいただき、また、その為にどんなサポートが必要かという面でも多くの意見をいただきました。

ロードマップでは、データの活用によって、学習する皆さんが自分に合った学びに取り組むために必要な内容について整理しました。

(右図 P22.データによる学習者の自己理解・教師の見取りの充実)



6.データの持ち運びによる「多様な学びの場」の実現について_1

地域活動やボランティア、部活動などの重要性

- **ボランティア的なことをする中で人と会う**ことは大切だと思う。学校での自分とは違った自分で居られるのがいいと思う。（高校生年代～大学生・大学院生）
- **児童館や子ども食堂などでボランティア的なことをする中で人と会うことは自分にとっては大切**に思っています。実利的なことだと、今の自分の専攻に関わってくる…というのがありますが、**学校での自分とはまた違った自分で居られるのがいい**なっています（高校生年代～大学生・大学院生）
- **部活や地域のチームのような団体活動は大切**だと思います。チームの問題を他人事にしない、協力・尊重しあえる、など他者との関わりを学ぶ機会が必要かなと。（社会人年代）

多様な学びの場の実現への希望

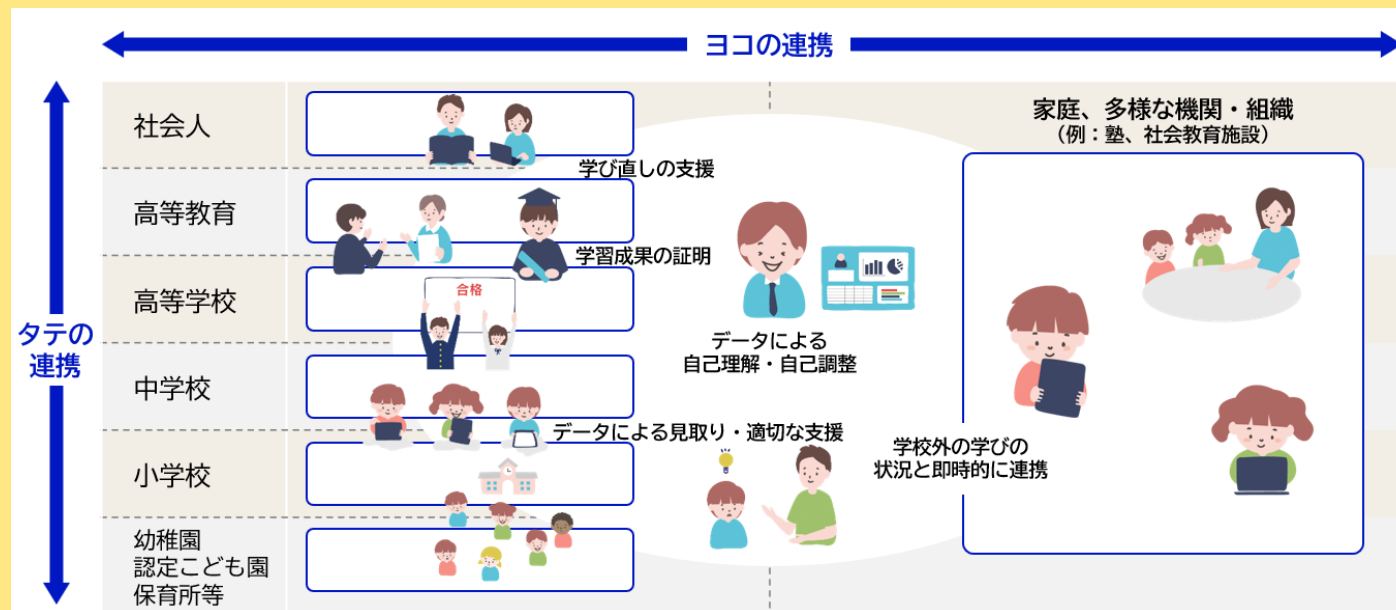
- **学習できる施設がもっと多様になっていて、システムが充実しているのが理想**です。施設の例としては、図書館のような、静かな自習できるスペース、調べ物をできるスペース、図書館より気軽に入れて友達と教え合いながら勉強できる、カフェに似たような雰囲気 of 公共施設を挙げたいです。（中学生～高校生年代）
- もっと**誰でも入れる地域コミュニティの一部となった学校**（中学生～高校生年代）
- **未来の教育として、通学がメイン、オンラインなど通信教育がメインなど、今よりも通学しない選択肢が増えても良い**のではないかと思います。通学距離が長く、希望校への進学を諦めてしまう子や、自分のペースで勉強したいという子のためにも、学校のスタイルも選択できれば良いのではないかと考えます！（高校生年代～大学生・大学院生）

学習データの持ち運びについて

- **全部の成績を一括で見ることができる**アプリが欲しい。紙の成績表・テストの結果などは紛失してしまうこともある。（高校生年代～社会人年代）
- **自分の学習履歴が自動で整理される**といいなっています。（高校生年代～大学生・大学院生）
- 全国の学校が自分らしい学びができるシステムを広く導入するには政府とかが**学習データを収集できるプラットフォームやそれらを連携できる制度などを準備していくことが不可欠になっていく**のでは。（中学生～高校生年代）
- 現在高校生で大学進学に必要な証明書などがあるため、**個人に関する情報がまとまっているアプリがあると良い**（高校生年代～社会人年代）

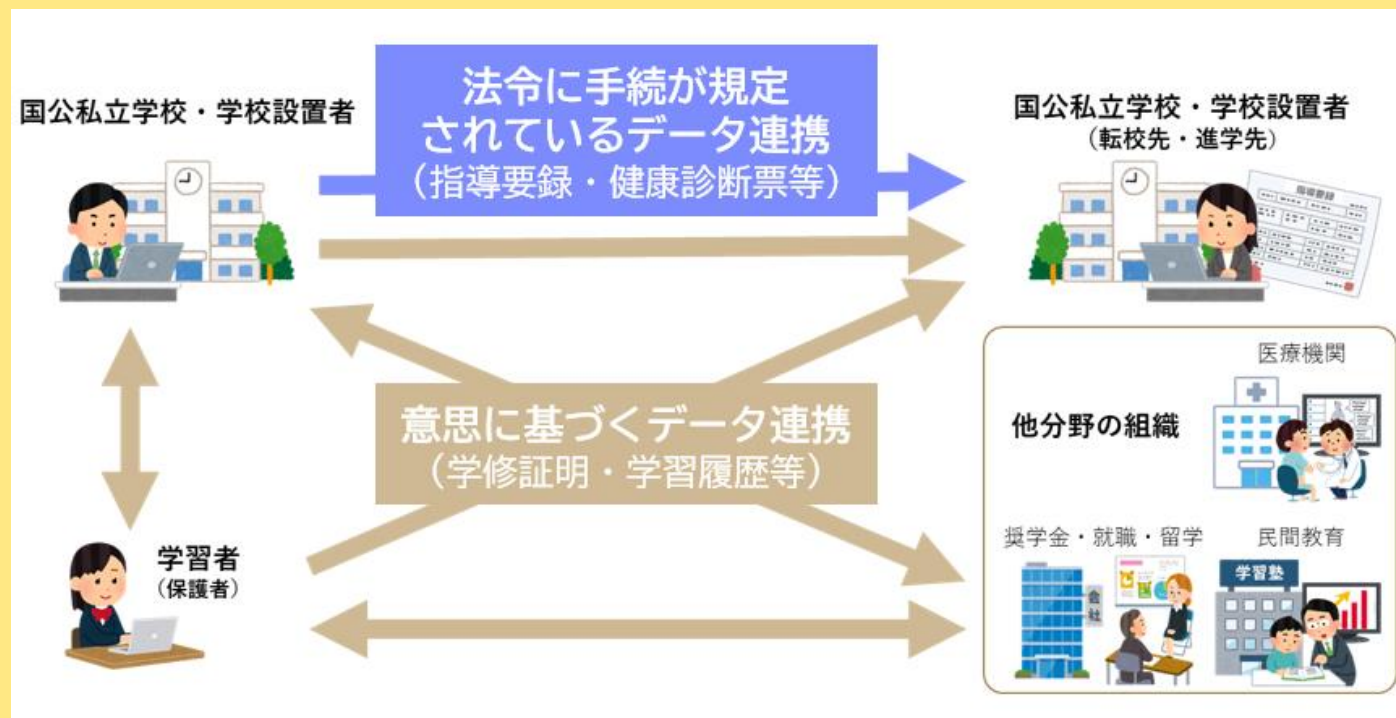
6.データの持ち運びによる「多様な学びの場」の実現について_2

・学校外での取り組みに関する重要性や学びの環境の多様化に関する意見が多く聴かれたほか、未来の教育として、自分のデータを自由に利用できるイメージがありました。
こうした未来を実現するためには、学校の内外に関わらず自分のデータを持ち運べる仕組みが必要となることから、教育分野の認証基盤の検討に着手しました。



ロードマップでは、生涯を通じて自分の意志で学びのデータを活用できるビジョンを描いています。
学校の外にある体験や学ぶ機会をデータによって繋げられるようにし、皆さんの学びの機会や活躍の場がより様々な場面に繋がり・広がるように作成しました。

(左図_P27.生涯を通じて学びのデータを活かせる環境の整備より)



学校に保管されている皆さんの情報は、現在転校や進学の際には紙でやり取りをされていますが、これをデータでやり取りが出来るようにすることで先生方の負担を軽減します。
また、皆さんが自身の意志で学びのデータを活用出来るようにすることで、学ぶことの楽しさや意味を皆さん自身が実感できるシステムを目指しています。

(左図_P31.学校や自治体間等での認証基盤活用のケース整理と整備方針より)